

岩見沢市議を3期務めたキャリアを生かし、1期生ながら着実に活動実績を積み上げ、高い評価を得ているのが村木中道議員です。持ち前の行動力を武器に地域を回り、市民からの要望を的確な施策として反映させています。「景気回復を加速させ、北海道と岩見沢の未来を力強く築くために全力疾走で頑張ります」と村木道議員は闘志を燃やしています。

# 岩見沢、北海道の未来へ全力ダッシュ!!



地域の思いを胸に明日をつくる

輝かしい新年を皆さまとともに  
お慶び申し上げます。  
皆さまの絶大なお力添えの

北海道議会議員

あたる

# 村木 中 さん

## 党道ブロック両院議員会と道議との懇談会を開催

―道が道開発予算の確保など要望―

自民党北海道ブロック両院議員会と道議会議員との懇談会が12月19日、党本部で開かれました。伊東良孝道連会長、高橋はるみ知事のあいさつ後、関博之国土交通省北海道局長から、同12日に閣議決定された2013年度補正予算案について説明がありました。歳出規模5・5兆円の補正予算案には北海道開発予算926億円が盛り込まれ、13年度の当初予算4770億円と合わせた総額は5696億円となりました。

また、14年度予算で行う公共事業費を本年度に前倒しして契約する「ゼロ国債」は845億円(事業費ベース)で、ここ5年間では最大規模になりました。

その後、柴田達夫道総合政策部長による14年度の国の予算、施策に関する要望があり、開発予算等の総額確保やTPP交渉への万全な対応の必要性を強く訴えました。続いて、出席した国会議員から、開発予算、新幹線の整備、送電網の整備、TPP交渉、観光振興特別措置法、酪農畜産物価格等についての説明があり、活発な意見交換が行われました。

与党から工期の前倒しや、そのための国費増額を求める声が出ていた整備新幹線については、政府が12月19日、14年度当初予算案で、新函館(仮称)―札幌を含む5区



間の建設予算を9年ぶりの増額となる720億円台とする方向で最終調整に入りました。当初予算額は2005年以降、706億円が続いていましたが、消費税増税で資材費などが上がることもあり、増額が必要と判断しました。

と道政に参画させていただいてから間もなく3年が経過し、任期4年の締めくくりの1年を迎えます。昨年は参院選での自民党大勝による衆参ねじれ解消、2020年東京五輪・パラリンピックの開催決定、富士山の世界文化遺産登録など、喜ばしい出来事が相次ぎました。民主党政権が3年かかってできなかったことを、安倍政権は3本の矢を次々と放ち、1年後にはアベノミクス効果により、株価や有効求人倍率などの経済指標が着実に改善しました。

しかし、北海道を取り巻く環境は依然として厳しく、人口減少、少子高齢化、TPP問題、JR北海道による不祥事に加え、とくに経済分野での立ち遅れが目立っています。安倍首相は13年度補正予算に5・5兆円規模の経済対策を盛り込み、景気回復に全力をあげる姿勢を打ち出しました。その効果を地域の皆さまに実感してもらえるように、私も頑張つてまいります。

皆さまの思いをしっかりと受け止め、課題一つひとつに向き合い、元気な岩見沢、力強い北海道をつくってまいります。本年も変わらぬご指導をどうぞよろしくお願い致します。

### 北海道議会議員 村木 中(むらき・あたる)道議のプロフィール

1967年札幌市生まれ。岩見沢市立南小学校、光陵中学校、北海高校卒業。岩見沢市議を3期務めた後、2011年に道議会議員に初当選。1期目。現在、道議会議会運営委員、同農政常任委員会理事、同北方領土対策特別委員、自民党道連副幹事長、同広報副委員長、同選挙対策副委員長。



岩見沢市版

## 北海道議会議員 村木 中 事務所

〒068-0004 岩見沢市4条東1丁目2

Tel.(0126)33-6611・Fax.(0126)24-6668

発行所 自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23 電話 東京 03(3581)6211(代表)〈毎週火曜日発行〉  
(昭和30年6月15日第三種郵便物認可) 自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

# 道政報告

「決められる政治」の自民党が北海道を変える!!

## 地方自治、農林水産業、教育に 鋭く斬り込む村木道議

●2013年第2回定例会一般質問(6月24日)

### 1. 合併市町村に対する 財政支援等について

#### 村木道議 市町村合併に伴う経費節減により、普通交付税が急激に減らないようにする合併算定替の優遇措置が近く終了する。これにより、道内22市町村でどのくらいの交付税が削減される見込みか。

**村木道議** 市町村合併に伴う経費節減により、普通交付税が急激に減らないようにする合併算定替の優遇措置が近く終了する。これにより、道内22市町村でどのくらいの交付税が削減される見込みか。

**村木道議** 道は札幌圏への政府機能等のバックアップ拠点の形成を国に提案しているが、経済界や自治体などと連携して検討を進める必要があるのではないか。

**高橋知事** 東京に本社を置く在札企業のトップを中心に構成された「首都

圏バックアップ誘致研究会」の協力も得ながら、国への提案や誘致活動などを展開していく。



2. 政府機能等の  
バックアップについて

**村木道議** 道は札幌圏への政府機能等のバックアップ拠点の形成を国に提案しているが、経済界や自治体などと連携して検討を進める必要があるのではないか。

**高橋知事** 東京に本社を置く在札企業のトップを中心に構成された「首都

### ●農政委員会

#### コメ政策の見直しについて

(11月5日)

**村木道議** 今後、合併市町村に対し、どのような支援を行っていくのか。  
**高橋知事** 行財政の効率化や住民サービスの向上などについて助言・協力するとともに、合併による行政区域の広域化を踏まえた財政措置が新たに講じられるよう国に働きかけてまいりたい。

**村木道議** 国は農家の経営所得安定のため、日本型の直接支払制度の創設、生産調整の見直しなどについて検討を進めている。農業団体はどう受け止めているのか。  
**水田担当課長** 国の産業競争力会議における民間委員の提言に対し、道内の農業団体は「生産現場の実態を無視したもので到底容認できない」との談話を発表していた。生産調整の廃止などの急激な制度変更は生産現場に大きな混乱を招くと懸念していると推察している。

**農政部長** 本道の稲作農業が持続的に発展できるように、実効性のある需給調整や経営安定のためのセーフティーネットの構築が必要と考えている。農業団体と連携し、国に対して必要な働きかけを行っていく。  
・TPPをめぐる状況等について／北海道ハイオマス活用推進計画素案について(8月6日)

**農作物の生育状況等** について(9月3日)  
・13年度ホッカイドウ競馬の開催結果について／国家戦略特区に係るJAPANフールドピア構想について(11月27日)

**農地中間管理機構** について(1月7日)

**総合政策委員会**(1月8日)  
・13年度予算編成に向けた国への提案・要望について

**新幹線・総合交通体系対策特別委員会**(4月3日)  
・JR北海道の安全対策について



**村木道議** 道はどのような受け止めているのか。



**農政部長** 本道の稲作農業が持続的に発展できるように、実効性のある需給調整や経営安定のためのセーフティーネットの構築が必要と考えている。農業団体と連携し、国に対して必要な働きかけを行っていく。  
・TPPをめぐる状況等について／北海道ハイオマス活用推進計画素案について(8月6日)

**農作物の生育状況等** について(9月3日)  
・13年度ホッカイドウ競馬の開催結果について／国家戦略特区に係るJAPANフールドピア構想について(11月27日)

**農地中間管理機構** について(1月7日)

**総合政策委員会**(1月8日)  
・13年度予算編成に向けた国への提案・要望について

**新幹線・総合交通体系対策特別委員会**(4月3日)  
・JR北海道の安全対策について

### ●予算特別委員会

#### 学力向上対策について

(10月1日)

**村木道議** 全国学力テストの結果で北海道は依然として全国下位のグループにある。2014年度に全国平均以上にするとという目標に向け、実態を明らかにする必要があるが、結果公表はどのように行われているのか。  
**義務教育課長** 市町村別では77%の結果を公表しており、小学校は97.8%、中学校は98.1%が公表している。個人が特定されることを理由に、一部の市町村が公表していない。

**立川教育長** 公表の取り組みには大きな課題がある。きめ細かな指導助言を行うなど、目標達成に向けて、地域が一体となった取り組みを加速させてまいりたい。  
・鳥獣被害防止対策について／GPS

**除排雪** について(9月27日)

**総合政策委員会**(1月8日)  
・13年度予算編成に向けた国への提案・要望について



▲TPPについての情勢報告会で司会を務める



▲常任委員会で積極的に質問



▲教育議員連盟での勉強会



▲エネルギー問題についての勉強会



▲各種団体からの要望を聞き道政に反映